

お元気ですか

南 恵子

です

日本共産党品川区議会議員 南恵子事務所 八潮5-12-65-503

区議団 e-mail info@jcp-shinagawa.com

ニュースを読んでご意見をお寄せ下さい。

南恵子事務所
3790-1523



これでは 姥捨てやまだ! 後期高齢者医療制度 高すぎる保険料 東京は10万2900円

75歳以上の人を対象にし、来年4月から実施する後期高齢者医療制度の保険料案が、11月20日に開かれる東京都後期高齢者医療制度広域連合議会に提出され審議します。高すぎる保険料に「姥捨て山だ」「生きていくなと言われていたみたいだ」と怒りの声が広がっています。

後期高齢者医療制度の保険料と国保保険料の比較(東京都)

年金収入	後期高齢者医療制度保険料	特別区の国保料	増減率
～153万	11,340	10,530	7.7%
～168万	16,260	12,142	33.9%
～173万	30,380	13,754	120.9%
～193万	38,580	24,944	54.7%
～213万	63,040	33,763	86.7%
～233万	76,160	53,593	42.1%
～238万	84,360	59,406	42.0%
～253万	98,480	65,668	50.0%
～288万	114,880	92,435	24.3%
～338万	142,760	127,868	11.6%
～388万	175,560	168,788	4.0%
～438万	208,360	215,365	-3.3%
～488万	241,160	269,150	-10.4%
～538万	273,960	323,896	-15.4%
～588万	306,760	378,642	-19.0%
～638万	339,560	433,326	-21.6%
～688万	372,360	488,010	-23.7%
～743万	406,800	522,676	-22.2%
～783万	437,960	530,000	-17.4%
～823万	464,200	530,000	-12.4%
～858万	488,800	530,000	-7.8%
858万1～	500,000	530,000	-5.7%

※都後期高齢者医療広域連合の資料をもとに作成(年額 円)

保険料

年金収入388万円
以下は負担増

左の表をご覧ください。表の左の「年金収入」欄の「338万円」を境に保険料の増減率(表の右側)が変わります。年金収入が少ない方の保険料は、国民健康保険料と比較すると重くなり、高額所得になるほど軽くなります。そういう仕組みに設定されています。

しかも、社会保険の扶養になっている高齢者も、後期高齢者医療制度に加入するために、今までは払わな

高年齢者は医療費がかかるので国保や社会保険と別の仕組みにして、保険料負担をもらうというのが、後期高齢者医療制度の考え方です。

高年齢者は医療費がかかるので国保や社会保険と別の仕組みにして、保険料負担をもらうというのが、後期高齢者医療制度の考え方です。

元厚生労働省の堤修三氏(大阪大学教授)は後期高齢者医療制度について「姥捨て山だ」と厳しく批判しています。

保険料は年金から天引き

高い保険料に加えて、「保険料を年金から天引き」という、「有無を言わず取立てをする」やり方もひどすぎます。

天引きは、介護保険料ですでに実施されています。引かれた後の金額で暮らさざるを得ず、「ひどい」「これでは暮らせない」という声が高齢者からでています。さらに加速させるもので許されません。

保険料を滞納すると保険証を取り上げる

保険料は年金天引きなので、いやおうなしに払われますが、年金が月額1万5000円未満の方は「普通納付」といって直接払うようになります。その場合、滞納すると国民健康保険と同じように「医療証」を取り上げます。そして、代わりに

6ヶ月有効な「短期医療証」、お医者さんの窓口で全額払う「資格証明証」が発行されます。

これまでは、75歳以上の高齢者は障害者や被爆者と同じように「短期医療証」「資格証明証」は発行してはならない——と定められていました。ところが、昨年、自民・公明が法律を改悪して数の力で押し通し、保険証の取り上げをできるようにしたのです。

病気になるがちな高齢者から医療証を取り上げる、なんてひどい制度でしょうか。また、悪法に賛成した自民・公明も許されません。

こんな制度は中止させよう——と運動が広がる

厳しい負担を強いる制度をつくった背景は、大企業・財界が企業の保険料負担を減らすことを強く求めてきたといわれています。

日本の企業の税と保険料負担は、ヨーロッパの先進国と比べるとフランス・スウェーデ

ンの6割、イタリアの7割にすぎず、きわめて少ない状態です。それにもかかわらずさらに減らせという要求は通りません。

国民の批判が広がる中で、「扶養になっっている方の保険料の徴収は6ヶ月凍結」「74才までの窓口負担2割の実施を1年間凍結」との提案をしています。いずれ負担増が再開されることには変わりはありません。

こんな制度は中止しかありません。「来年4月設の実施は中止」の声は大きく広がっています。日本共産党も一緒に全力を尽くします。

この問題でみなさんのご意見・ご要望などを聞かせてください。

連絡先(3790)1523

品川後援会主催
バス旅行 (11月23日金)
 に行きませんか
ドイツ村 横須賀美術館他
 申し込みは
 南恵子事務所まで
(3790) 1523
 後援会の依頼で掲載しました

後期高齢者医療制度ってなに？

12月15日(土) 午後6時半～
 八潮地域センター 講習室2

みんなで学び
 中止にしよう

主催 日本共産党八潮後援会
 連絡先(3790)1523

学習会のお知らせを依頼されましたのでご紹介します。